

# **個別事業説明書【PR版】**

**警察本部**

# 1 交通安全施設等整備事業費

人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト水準になるといった状況等を鑑み、交通事故のリスクから県民の命を守り、安全・安心な生活基盤を構築するために必要不可欠な交通安全施設(信号灯器LED化)の整備を加速化させる。

指 標	施策	33 交通安全対策の推進	現状値	52人 (R6年)
	KGI	交通事故死者数	目標値	33人 (R8年)
細施策	33-3 県民を交通事故から守る活動の推進	現状値	462人 (R6年)	
	KGI	交通事故の重傷者数	目標値	400人 (R8年)

お問い合わせ先  
警察本部警務部  
会計課  
(代表 089-934-0110)

事業イメージ	KPI	信号制御機の計画更新達成率	現状値	100% (R6年)
			目標値	100% (R8年)

## 現 状

- 令和7年10月末時点では、人口10万人当たりの交通事故死者数 **全国ワースト3位**
- 令和6年中の、全交通事故発生件数の**約18%**が信号交差点において発生

→ **信号交差点の安全性向上が重要！！**

→ **信号灯器のLED化により、交通事故リスクが60%減少(警察庁調査)**

## 課 題

- 信号灯器の計画的なLED化により、交通事故リスクの低減化が必要
- 信号灯器用電球の生産終了（令和9年度末）が発表されるという不測の事態により、早急なLED化更新が必要となった。

→ **信号灯器のLED化の加速化により、交通事故抑止対策を進める**

## 取 組

1 交通事故多発地点におけるLED化更新

2 Velo-city2027時のイベント等実施路線のLED化更新

## LED化のメリット

- 消費電力**が、電球に比べ**約6分の1**
  - **災害・停電時の予備バッテリー**（信号機電源付加装置）の持続時間が増加
  - **電気代**がおよそ**90%削減**
- 寿命**が、電球に比べ大幅に長い（電球式は約2年に対し、LED式は10年以上）

## 事業概要

### 1 事業費

車両用灯器 18,672千円  
歩行者用灯器 10,304千円

### 2 事業内容

#### (1) 交通事故多発地点におけるLED化更新

県内の交通事故多発地点のうち、信号灯器更新されていない路線について、交通事故抑止対策のためのLED化を進める。



#### (2) Velo-city2027時のイベント等実施路線のLED化更新

松山市内中心部において、数千人規模の自転車パレードが予定されており、想定される路線における交通事故抑止対策のためLED化を図る。

